

2019年8月9日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

女子高校生が社員とのペアで実施 体験型実技演習プログラム「Job Shadow」（ジョブシャドウ）

ジブラルタ生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 添田 毅司、東京都千代田区、以下 ジブラルタ生命）は、2019年7月25日に福島県立磐城桜が丘高等学校の女子高校生20名を本社オフィスへ招待し、体験型実技演習プログラム「Job Shadow」（ジョブシャドウ）を実施いたしました。

「Job Shadow」は、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（代表 佐川秀雄執行役員、東京都品川区、以下 ジュニア・アチーブメント）が提供する体験型実技演習プログラムです。本プログラムは、高校生が社員とペアになり「影（シャドウ）」として行動を共にすることで「仕事内容の理解」ではなく「仕事をしている人を見ることで、仕事の厳しさや考え方、責任感を肌身で体験する」ことを目的としており、参加する高校生の進路・職業の選択に役立つ機会を提供します。

ジブラルタ生命は、被災地いわきの次世代女性のキャリア意識の形成を支援する目的で2017年から本プログラムへ協賛しており、今年も福島県立磐城桜が丘高等学校の女子高校生が参加しました。

当日は、本社オフィス（プルデンシャルタワー、東京都千代田区）に福島県立磐城桜が丘高校の女子高校生20名が訪れ、17部門の社員20名とペアを組みミーティングや通常業務などに約2時間同行しました。その後、実施された社員と女子高校生との意見交換会では、女子高校生から多くの率直な質問が投げかけられ活発な意見交換が行われました。

ジブラルタ生命はこれからも子どもたちへの様々な学びの機会の提供を通じて、“未来を担う子どもたち”を応援してまいります。

<当日の様子>



（写真左）社員のデスクで仕事の様子を観察する女子高校生
（写真右）社員とのディスカッションで、真剣に話を聴く女子高校生

参考資料

【ジュニア・アチーブメントについて】

1919年に米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しており、現在、世界123か国、全米129都市に活動拠点があります。日本本部の設立は1995年で、プログラムを導入する学校は全国に拡大しています。2010年7月より公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本となり、活動範囲をさらに拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会で自立できる力）を育むための支援を提供しています。

ジュニア・アチーブメント ワールドワイド HP www.ja.org

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本 HP <https://ja-japan.org/>



(写真) 「Job Shadow」実施後の記念撮影